

# 宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## ■宮崎県第20週の発生動向

・**重症熱性血小板減少症候群（SFTS）**（全数把握対象）の報告が宮崎市保健所から1例あった。県内での報告は14例目となった。患者は80歳代女性、発症は5月上旬で約1週間後に死亡した。4月に山林に入ったが、ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴はなかった。

県内のSFTS年齢別報告（例）

40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
1	1	3	3	6

・定点医療機関からの報告総数は858人（定点あたり25.5）で、前週比117%と増加した。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病であった。減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

#### 【咽頭結膜熱】

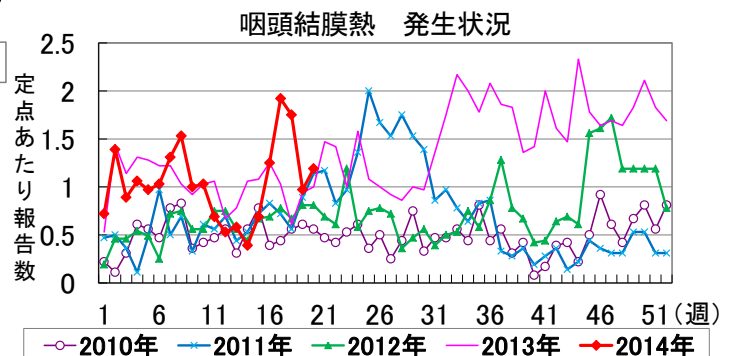
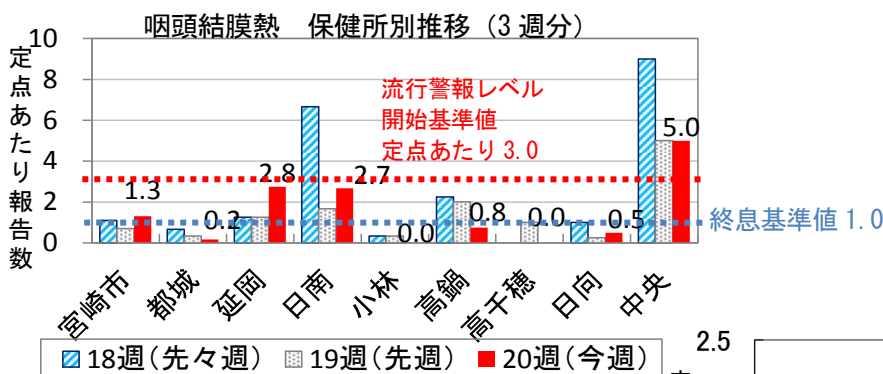
・報告数は43人（1.2）で前週比123%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*（0.80）の約1.5倍であった。中央（5.0）保健所からの報告が多く、年齢別では6ヶ月から2歳が全体の約半数を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

## 《前週との比較》



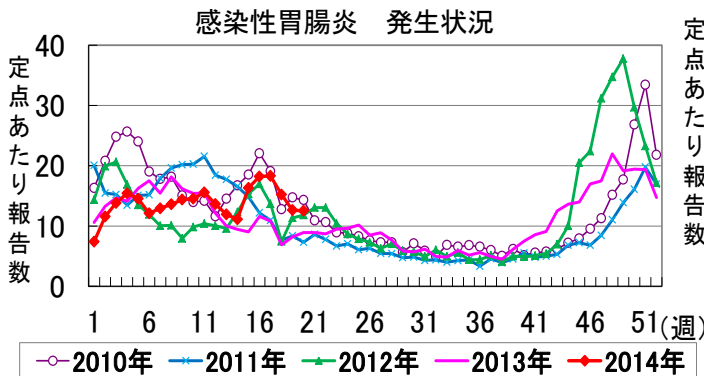
※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



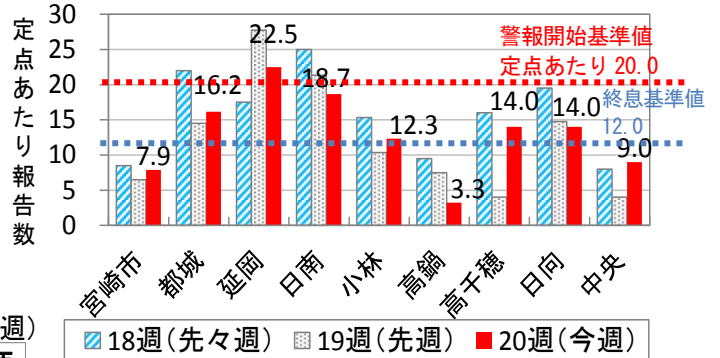
【感染性胃腸炎】

・報告数は451人(12.5)で前週比99%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値\*(10.4)の約1.2倍である。延岡(22.5)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から3歳が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



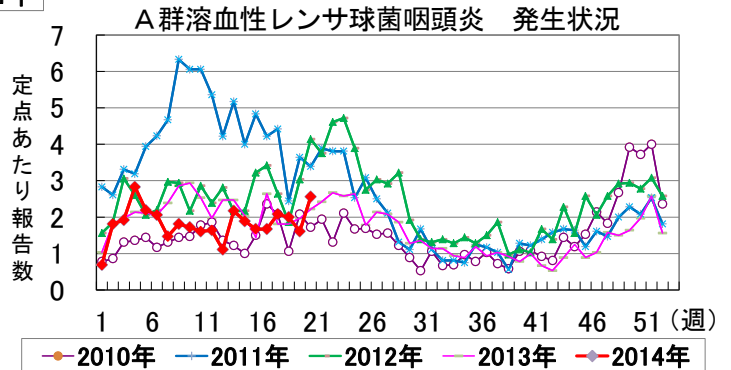
感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

・報告数は92人(2.6)で前週比159%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値\*(2.9)の約9割である。年齢別では3歳から6歳が全体の約7割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市、都城、延岡保健所管内から各1例ずつ計3例報告された患者は1歳が2名、4歳が1名であった。いずれも群別不明。

□ 流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	感染性胃腸炎(22.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(5.0)

\* 流行警報レベル開始基準値\*

- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・咽頭結膜熱(3.0)

□ 全数把握対象疾患（20週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 7 例。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： 重症熱性血小板減少症候群 1 例。
- 5 類感染症： 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	女	肺結核	画像所見
			80 歳代	女	肺結核	咳
		都城	30 歳代	男	肺結核	咳、痰
			50 歳代	女	結核性胸膜炎	胸痛
			80 歳代	男	肺結核	咳
		小林	60 歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、胸痛
		高千穂	40 歳代	男	疑似症患者	発熱、胸痛
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80 歳代	女	患者	発熱、下痢、血小板減少、白血球減少

□ 病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 26 年 5 月 21 日までに検出）

□細菌

報告なし

□ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	材料	検出日
インフルエンザ A 型	9	男	2014.4.10	インフルエンザ A、発熱	鼻汁	2014.5.9
インフルエンザ AH1pdm09 型	6	女	2014.4.10	インフルエンザ A、39.3℃、目の痛み	鼻汁	2014.5.9
インフルエンザ AH1pdm09 型	6	女	2014.4.8	インフルエンザ A、38.2℃	鼻汁	2014.5.9
インフルエンザ B 型 (山形系統)	12	男	2014.3.24	インフルエンザ B、37.8℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.5.9
インフルエンザ B 型 (山形系統)	3	女	2014.4.11	インフルエンザ B、39.4℃、鼻水	鼻汁	2014.5.9
インフルエンザ B 型 (山形系統)	7	女	2014.4.12	インフルエンザ B、38.0℃	鼻汁	2014.5.9
インフルエンザ B 型 (山形系統)	10	女	2014.4.14	インフルエンザ B、38.0℃、のどの痛み	鼻汁	2014.5.9
ライノウイルス	3ヶ月	男	2014.5.14	気管支炎、38.0℃	咽頭ぬぐい液	2014.5.16

○インフルエンザ A 型と診断された小児 1 名からインフルエンザ AH3 型、2 名からインフルエンザ AH1pdm09 型が分離された。インフルエンザ B 型と診断された小児 4 名からインフルエンザ B 型（山形系統）が分離された。全国的にインフルエンザの定点あたり報告数は減少している。本県でもピークは過ぎたものの、5 月に入っても検査依頼があり、引き続き手洗い、うがい等の予防が必要と思われる。

○気管支炎と診断された乳児からライノウイルスが検出された。

## ■全国第 19 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 13.3 で、前週比 82%と減少した。今週増加した主な疾患は水痘と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

水痘の報告数は 3,881 人(1.2) で、前週比 118%と増加した。新潟県・福岡県(各 2.6)、石川県(2.4)からの報告が多く、年齢別では 1~5 歳が全体の約 8 割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は 816 人(0.26)で、前週比 113%と増加した。福島県(1.0)、高知県・福岡県(各 0.90)からの報告が多く、年齢別では 3~6 歳が全体の約 6 割を占めた。

### □ 全数把握対象疾患（全国第 19 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	203 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	14 例	腸チフス	1 例
	パラチフス	1 例				
4類感染症	E型肝炎	2 例	A型肝炎	6 例	つつが虫病	4 例
	デング熱	1 例	日本紅斑熱	1 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	10 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	4 例	急性脳炎	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例	後天性免疫不全症候群	8 例
	ジアルジア	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	梅毒	5 例
	破傷風	3 例	風しん	7 例	麻しん	9 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第20週(05月12日～05月18日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	52	33	4	4	2	17	6				
	定点あたり	0.88	0.56	0.25	0.40	0.29	3.40	1.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	2	7	1	2	4						
	定点あたり	0.06	0.19	0.10	0.33	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	35	43	13	1	11	8		3		2	5
	定点あたり	0.97	1.19	1.30	0.17	2.75	2.67	0.00	0.75	0.00	0.50	5.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	92	11	21	28	10	2	9	3	8	
	定点あたり	1.61	2.56	1.10	3.50	7.00	3.33	0.67	2.25	3.00	2.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	455	451	79	97	90	56	37	13	14	56	9
	定点あたり	12.64	12.53	7.90	16.17	22.50	18.67	12.33	3.25	14.00	14.00	9.00
水痘	報告数	71	65	14	14	6	10	3	12	1	5	
	定点あたり	1.97	1.81	1.40	2.33	1.50	3.33	1.00	3.00	1.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	47	77	30		10	12	4	10		8	3
	定点あたり	1.31	2.14	3.00	0.00	2.50	4.00	1.33	2.50	0.00	2.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	2	6	2		4						
	定点あたり	0.06	0.17	0.20	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	33	41	17	7	8	2		4		1	2
	定点あたり	0.92	1.14	1.70	1.17	2.00	0.67	0.00	1.00	0.00	0.25	2.00
百日咳	報告数		2		1						1	
	定点あたり	0.00	0.06	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3	15	2		3		1			9	
	定点あたり	0.08	0.42	0.20	0.00	0.75	0.00	0.33	0.00	0.00	2.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	11		2	3	2		2		1	1
	定点あたり	0.17	0.31	0.00	0.33	0.75	0.67	0.00	0.50	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	12	12								
	定点あたり	0.67	2.00	4.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	3	3	1	1	1						
	定点あたり	0.43	0.43	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～20週)

2類感染症	結核	74例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	6例(1)
	つつが虫病	5例	ポツリヌス症	1例	レジオネラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	4例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	4例
	梅毒	5例	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

( )内は今週届出分、再掲